

発行／伊勢原市 編集／広報戦略課
〒259-1188 伊勢原市田中348番地
☎0463-94-4711(代)
FAX 0463-93-2689



伊勢原市
「いせはら 暮らし安心メール」の
配信登録や閲覧は、市ホームページから



人口と世帯 ● 人口101,990(－98) ● 世帯数46,110(－30) 11月1日現在()は前月比 ※平成27年国勢調査を基にした推計人口 発行部数／38,700部

令和3年4月採用の市職員を募集します

受験希望者は受験案内を確認の上、申込書を郵送で担当に提出してください。受験案内や申込書は市ホームページ「職員採用」から入手できます。

締め切り 11月27日(金)※消印有効

一次試験予定日 12月13日(日)

募集職種など

職 種	受 験 資 格	募集人数
技術職[土木] (上級または初級) ※上級は大学卒業程度、 初級は高校卒業程度	昭和60年4月2日以降に生まれた人で、 学校教育法に規定する大学または高校 を卒業した人(令和3年3月末卒業見込 みを含む)	若干名
技術職[建築] (上級)	昭和60年4月2日以降に生まれた人	若干名
保育士(中級)	平成2年4月2日以降に生まれた人で、 保育士の資格を有する人*(令和3年3月 末取得見込みを含む) *神奈川県が実施する国家戦略特別区 域限定保育士試験の合格者を含む	1人

※各職種とも地方公務員法第16条(欠格事項)に該当する人は受験できません
☎職員課☎94-4873

災害廃棄物等処理計画(案)にご意見を

災害廃棄物に対し平時から備え、災害発生時に適正かつ円滑・迅速に処理するため「伊勢原市災害廃棄物等処理計画」を策定します。

策定に当たり、市パブリックコメント制度(市民意見提出制度)に基づき、ご意見を募集します。

閲覧場所 担当か市役所1階ロビー、各公民館※市ホームページ「パブリックコメント」からもご覧になれます

意見提出方法 住所、氏名、意見、電話番号を明記し郵送(〒259-1138 神戸378)かファクシミリ、電子メール、または直接担当に提出してください

意見提出期間 11月24日(火)～12月23日(水)※消印有効

環境美化センター

☎94-7502☎92-4717

✉bika-c@isehara-city.jp

いせはら乗るたびスマイルキャンペーン ～いせはらマイクロツーリズム～

近場の魅力を再発見し、楽しむ「マイクロツーリズム」をコンセプトに、コロナ禍で落ち込む市内の観光需要回復と経済活性化を図る事業です。

平日に大山ケーブルカー往復乗車券(大山ケーブル駅～阿夫利神社駅)を購入した人に、市内主要観光地など52店舗で使えるクーポン券を配布します。詳しくは問い合わせ先にお問い合わせください。

配布期間 11月16日(月)からの平日(年末年始を除く)

※無くなり次第終了

対 象 県内在住の人

配布方法 大人乗車券購入で500円券2枚、小児乗車券購入で500円券1枚

クーポン券の有効期間 令和3年2月28日(日)まで

☎キャンペーン事務局☎050-6865-6666

☎商工観光課☎94-4729



11月15日から「はまPay」「ゆうちょPay」 で市税などが支払えます

市では電子マネーで市税や後期高齢者医療保険料が納付できるサービスを行っています。11月15日(日)から、スマートフォンの決済サービス「はまPay*」「ゆうちょPay」でも納付できるようになりました。詳しくは担当か市ホームページ「くらしのガイド」→「税金」→「納付・収納」でご確認ください。

*横浜銀行の電子決済サービスです

納付できる税・保険料

◇市県民税(普通徴収)

◇固定資産税・都市計画税

◇軽自動車税(種別割)

◇国民健康保険税(普通徴収)

◇後期高齢者医療保険料(普通徴収)

利用できない納付書

◇コンビニ取扱期限が過ぎている

◇バーコードの印字がない(納付金額が30万円を超える場合など)

◇納付金額が訂正されている

◇バーコードが破損・汚損し読み取れない

納付方法

アプリをダウンロード(下のQRコードからダウンロードできます)



納付書のバーコードを読み取る

初回は取引暗証番号や支払口座などの登録が必要です。

内容を確認して納付

領収書や軽自動車税納税証明書は発行されません。必要な場合は、指定金融機関またはコンビニエンスストアで納付してください。

☎収納課☎74-5495

市制施行
50周年記念
アーカイブ

シリーズ

新聞記事で振り返る

あの日、あの時

第2回「伊勢原道灌まつりがスタート」

今回紹介するのは本市ゆかりの武将、太田道灌の名を冠して初開催した「伊勢原道灌まつり」について掲載された、昭和46(1971)年10月2日の記事です。

市昇格機会に盛大に 伊勢原 きょう“道灌祭り”

伊勢原市はきょう、あすの両日太田道灌祭りを盛大に行なう。これまで“町”として墓前祭などを行なってきたが、さる三月一日、県下十五番目の市に昇格したので、これを機会に市の観光祭りの“目玉”にしようというわけで、その意味では第一回の「道灌祭り」となる。(後略)〔神奈川新聞〕

記事の
中身は



提供 神奈川新聞社

※当時の紙面記事をそのまま使用(一部記事省略)

次の年から現在の名称「伊勢原観光道灌まつり」に

昭和43(1968)年に町村合併行事として始まった「伊勢原観光まつり」。伊勢原をもっとアピールできるまつりにと、この年の第4回から名称を「伊勢原道灌まつり」に改めました。当日はメインイベントのパレードで女優の榎原みさんらが「ミス伊勢原」として登場したほか、初代市長の浜田好一氏が道灌公に扮した道灌行列や、市制を記念して作られた「伊勢原おどり」、素人演芸のど自慢大会、小学校鼓笛隊パレードなどが華々しく行われました。翌年には現在の名称である「伊勢原観光道灌まつり」に改名。翌々年には桜台小学校で日本テレビの最長寿番組「笑点」の収録が行われ、番組史上最高視聴率40.5%(ニールセン調べ)が記録されています。



パレードの前に行われたテープカット

◇次回は「伊勢原工業団地の入居企業が決定」を紹介します

受け止めながら、第5次総合計画の総仕上げを行うとともに、本市を取り巻く環境変化を見定め、明るい未来へとつながられるよう、自ら先頭に立ってしっかりと取り組んでいく所存です。

4つの課題をいかに克服するか

これまでまいた希望の種が成長し、実を結びつつあります。その実が成長して新たな希望につながるよう築いてきた土台を足掛かりに、さらなる高みを目指して歩みを進めています。

3期目の市政運営においては、未来への希望あふれる伊勢原の実現に向け、これまでの取り組みを推進すべく、自らに課した4つのテーマがあります。

1 市の財政の健全化

私が市長就任前の平成23年度と直近の平成30年度の決算を比較すると、財政調整基金残高では16億2300万円の増、市債残高では50億2300万円の減、公社債務は30億9100万円の減となっており、経常収支比率を除く、ほぼ全ての財政指標などで改善がみられています。

しかし、財政健全化の取り組みに終わりはありません。行政にとって常に取り組むべき大きな課題です。このため、安定的な税収確保のための財政基盤を強化すべく、産業用地の創出や企業誘致を進めるとともに、費用対効果を常に検証し、施策の優先順位を一層見極めながら予算の重点化を行い、歳出の削減を図ります。

今後も特定財源を積極的に活用するとともに、恒久的な税財源を確保するため市長会などを通じ、地方財政制度の改善に向けた要望活動を継続していきます。

2 市民の生命と健康を守るまちづくり

これから冬場にかけては新型コロナウイルスと季節性インフルエンザとの同時流行が懸念されます。国・県の施策を踏まえ、感染拡大防止の観点から適切に対応します。さらに、恵まれた地域医療体制を生かし、感染拡大時の医療を確保するための設備やオンライン診療の導入支援など感染症対策の充実を図ります。

また市民の健康寿命の延伸を目指し、疾病の早期発見・予防に向けて、今年度から対象を拡大した肝炎ウイルス検査や、コロナ禍であつても受診しやすい環境整備などにより検診体制を充実するとともに、市民の自主的な健康づくり活動を支援します。

災害対策にも十分に備えなければなりません。首都直下地震などの巨大地震、気候変動に伴う豪雨災害、土砂災害から市民の生命や財産を守るため、県と



新東名高速道路の高架下を活用した中央備蓄倉庫

の連携を深め、支援をいたしながら河川整備などのハード対策を進めるとともに、ソフト対策としてハザードマップなどを活用した警戒避難体制の整備など、防災・減災対策を推進します。

また、11月1日から運用を開始する中央備蓄倉庫の活用を図り、自主防災会や企業と連携して地域の防災力を強化するとともに、避難所における感染症対策についても必要な整備を進めます。

3 地域産業・経済・観光のさらなる活性化

コロナ禍から地域産業の回復・再生を図るため、国や県の施策動向を注視しながら、今後とも必要な支援策を講じていきます。

特に観光面においては、国際観光地を目指した取り組みを推進してきましたが、開放感のある自然や歴史文化的な魅力など、改めて本市の観光資源の優位性を生かして、身近で安心な圏内

観光へと基軸を移しながら、引き続き大山・日向・比々多を核とした観光振興に取り組んでいます。

一年延期された東京オリンピック・パラリンピック競技大会については、簡素化のうえ開催する方向性が示され、聖火リレーについても来年6月28日に本市を通過することが発表されました。今後の動向を踏まえ、地域の活性化に結び付けられるよう調整を進めます。

少子高齢化が一層進行する中、持続的にサービスを提供していくには、活気に満ちた足腰の強いまちづくりを進めていく必要があります。令和5年度の新東名高速道路の全線開通をにらみ、奨励措置の更新・拡大により企業立地を促進し、雇用の創出を図ります。市内に魅力ある就業の場を確保し、定住や転入を促進することで、まちの活力の向上と、将来にわたる安定した財政基盤の強化につなげていきます。

さらに、今後のまちづくりを大きく前進させるため伊勢原大山インターチェンジ周辺に市内第4の産業拠点を形成し、企業を誘致するとともに、観光資源・地域産業と連携した土地利用を行うことで産業全体の活性化を図ります。

また、道路ネットワークの骨格となる都市計画道路



大原保育園内に開設した「つどいの広場いせはら」

これまで待機児童の解消に向け、保育所や認定こども園などの整備に関する支援を行い、保育の受け皿を拡充してきました。今後は保育士の確保など受け入れ体制の充実を図ります。

小児医療費助成制度については、10月診療分から通院医療費に係る助成対象を中学生ま

く考えです。

一方で、この危機を伊勢原が成長するための試練として受け止め、今後の市政運営に当たっていかなければならないと考えています。

感染症のまん延は人々の意識や価値観、行動などに大きな変化をもたらしますが、今日の新型コロナウイルス感染症においては、ポストコロナ社会が時代の一つの転換点になるものと認識しています。

今般の感染症の拡大は、テレワークやワーケーションなどの働き方を促しました。これらの普及によって都心に住む必要性が薄まり、東京一極集中が是正される動きもあります。

東京近郊にありながら自然豊かな本市は、こうした新たな働き方に適した条件がそろっています。シティプロモーションの取り組みを進め、伊勢原の魅力や可能性を積極的に発信し、活力として取り込んでいきたいと考えています。

災禍の際には社会における諸課題が顕在化するというわけですが、かつてないスピードでデジタル社会への移行が進んでいます。感染不安を低減するだけでなく、経済活動の効率性や生産性を高めるものであり、これからの行政サービスにとっても不可欠なものです。行政のスマート化、一層の行政手続きのオンライン化など、新たな時代の流れを取り入れ、市民福祉の



4月に利用開始した総合運動公園子どもの広場「空と大地のゾーン」

さらに、令和3年度から全ての中学校で給食を実施するための準備や、トイレ改修などの施設改良を進め、安全で快適な教育環境の整備を図ります。

また子育て世代をはじめ市民の皆さまの憩いと安らぎの場とするため、多世代交流や冒険遊びなどのゾーンを備えた空間として総合運動公園を生まれ変わらせるリニューアル工事を実施しています。令和4年度の全面完成を目指し、今後も計画的に整備を進めます。

おわりに

新型コロナウイルス感染症への対応に万全を期すとともに、市民一人一人が伊勢原への愛着を深め、市民としての誇りを育みながら未来に希望を持って安心して暮らすことができるよう、職員とともに誠心誠意努力を重ね、多くの方から「暮らしたい」「働きたい」「訪れたい」と思われるまちづくりを目指してまいります。

高山 松太郎 伊勢原市長 所信表明

未来への希望あふれる 住み続けたいまちの実現へ



10月14日の市議会臨時会本会議で、高山市長は3期目の就任に当たり、所信表明を行い、今後の市政運営の基本的な考え方を示しました。

※一部編集して掲載しています

整備が進み、3月に伊勢原大山インターチェンジが開通した新東名高速道路
撮影／目黒久仁彦さん(シティプロモーション公認サポーター)

はじめに

先の市長選挙において、市民の皆さまをはじめ各方面から温かいご支援を賜り三たび市政を担わせていただくことになりました。

ご期待と信頼に応えるべく、市民生活、伊勢原の未来に対して責任を果たし、ふるさと伊勢原のさらなる発展のため、全身全霊を注いでまいり所存です。

市長として2期8年、第5次総合計画に掲げる将来都市像「しあわせ創造都市いせはら」の実現に向けて着実に諸施策を推進するとともに、一貫して現場主義に徹し、本市が直面する課題に対して市民目線で、果断に対処してまいりました。

これからも多くの皆さまのお声に耳を傾けながら、初心を忘れることなく、真摯に市政を推進してまいります。

新型コロナウイルス感染症への対応

昨年12月、中国武漢に端を発した新型コロナウイルス感染症は、全世界に脅威と深刻な危機をもたらしました。その猛威は今もって、完全な終息のめどは立っていません。市内においても感染者は増えており、予

断を許さない状況が続いています。

こうした事態に対処するため、国策である特別定額給付金の支給などを迅速に執行するとともに、感染拡大の長期化を見据え、7度にわたる補正予算を組み、「感染拡大防止対策」「市民生活への支援」「雇用の維持と事業の継続」を柱とする独自の支援策にも取り組んできてまいりました。

5月の臨時会では、県の休業要請に応じた施設を賃借する事業者の皆さまに対し、感染症拡大防止協力を金を支給する事業などが、6月の定例会では、支援策に充てるため減額いただいた議員報酬の財源を活用した感染症予防対策事業に加え、小規模事業者への臨時給付金やひとり親家庭等への臨時特別給付金の支給などを含む補正予算が議決されました。

9月の定例会では、感染拡大防止と経済活動との両立を図るため、妊婦特別給付金の支給やプレミアム付商品券の発行などにより生活支援や経済対策を拡充強化するとともに、「新しい生活様式」を踏まえた危機に強いまちを目指し、避難所の感染防止対策、キャッシュレス決済の推進、ICTを活用した教育の推進、緊急観光支援などを含む補正予算が議決されました。このように市民生活各般

へ細やかに目配りしながら、10億円を超える独自の緊急支援事業に切れ目なく取り組んできたところです。

コロナ禍を乗り越え、成長するために

内閣府が発表した、今年4月から6月までのGDP（国内総生産）の速報値では実質成長率が前期比でマイナス7.9%、年率換算で28.1%の減となり、戦後最悪のマイナス成長となりました。市内経済にも同様に深刻な影響を及ぼし、自主財源の根幹である市民税の大幅な減収は必至です。

こうした極めて苦しい状況下、市民・事業者の皆さまは、長引くコロナ禍を乗り越えようと、自助努力により日々戦っておられます。知恵を出し合い、地域の連帯・共助により困難を克服しようと頑張っておられます。

市としても、この難局から市民生活を守り、地域経済の立て直しを図るため、必要な支援に取り組んでい

く考えです。

一方で、この危機を伊勢原が成長するための試練として受け止め、今後の市政運営に当たっていかなければならないと考えています。

感染症のまん延は人々の意識や価値観、行動などに大きな変化をもたらしますが、今日の新型コロナウイルス感染症においては、ポストコロナ社会が時代の一つの転換点になるものと認識しています。

今般の感染症の拡大は、テレワークやワーケーションなどの働き方を促しました。これらの普及によって都心に住む必要性が薄まり、東京一極集中が是正される動きもあります。

東京近郊にありながら自然豊かな本市は、こうした新たな働き方に適した条件がそろっています。シティプロモーションの取り組みを進め、伊勢原の魅力や可能性を積極的に発信し、活力として取り込んでいきたいと考えています。

災禍の際には社会における諸課題が顕在化するというわけですが、かつてないスピードでデジタル社会への移行が進んでいます。感染不安を低減するだけでなく、経済活動の効率性や生産性を高めるものであり、これからの行政サービスにとっても不可欠なものです。行政のスマート化、一層の行政手続きのオンライン化など、新たな時代の流れを取り入れ、市民福祉の

向上につなげたいと考えています。

市制施行50周年から未来へ

昭和46年に県内15番目の市として誕生した本市は、半世紀の歳月を重ね、令和3年3月1日に市制施行から50年目の節目を迎えます。

秀峰大山の裾野に広がる本市は、古来より定住の地として選ばれ、恵まれた自然環境や温暖な気候、交通環境の良さなどから首都圏近郊都市として発展し、市制施行当時4万5千人であった人口は、10万人を超えるまでになりました。

市の発展に尽力いただいた諸先輩、関係各位に敬意と感謝を表しますとともに先人たちが紡いできた歴史と文化を次代に継承し、まちの礎をより確かなものとすべく、力強く市政を前進させ、積み上げていくことが使命だと考えています。

将来にわたって住み続けたいまちであり続けられるよう、現在の伊勢原に暮らす皆さまに寄り添うことはもちろん、将来の伊勢原に住む市民の暮らしに思いをはせながら、このふるさとを発展させ未来に引き継いでいく責任があります。今なすべきことはもとより、中長期的な課題にも向き合い、10年先、50年先を展望した持続可能なまちづくりに取り組んでいきたいと考えています。

社会経済の動向を的確に

いせはら掲示板

※費用の記載がないものは原則無料です。お問い合わせは各担当へ、郵送は「〒259-1188伊勢原市役所〇〇〇課」で届きます(住所の記入は不要です)
※催しなどの対象は原則、市内在住・在勤・在学の人です

日時 場所 対象 定員 費用 申し込み 締め切り
問い合わせ 担当 電話番号 FAX番号 メールアドレス

主な施設の休館日 11/15～12/14

施設によって、利用基準や休館日を変更している場合があります。詳しくは各施設にお問い合わせください。

図書館

11/16・24・30、12/2・7・14

子ども科学館

11/16・24・30、12/2・7・14

市民文化会館

11/16・24・30、12/7・14

公民館

11/16・23・30、12/7・14
※中央公民館は11/23・30以外は開館
※大田公民館は11/16、12/7は開館

市体育館

11/16・30、12/7・14

いせはらサンシャイン・スタジアム

11/16・30 ※12/1～3/9は休場

武道館

11/16・30、12/7・14

行政センター体育館・弓道場

11/23、12/14

市内の主な犯罪発生件数

犯罪の種類	9月	1～9月
特殊詐欺	6	26(－1)
空き巣	0	1(－13)
車上狙いなど	1	13(－19)
乗り物盗	12	59(－11)

伊勢原警察署調べ()内は前年比

お知らせ information

家計・お金に係る特別相談会

多重債務や住宅ローンなどについて弁護士や生活支援相談員が相談を受けます
12月3日(木)午前10時～午後4時
市役所1階市民相談室 5人(申込順)

入籍・広聴相談課 ☎94-4717

会計年度任用職員(一般事務)を募集

市役所業務の補助を行う非常勤職員を募集します。詳しくは市ホームページ「職員採用」か市役所1階の担当で配布する募集案内で確認を◇従事内容＝①窓口業務に関する事務補助や電話による案内業務など②マイナンバーカード交付に関する事務補助や住民登録に伴う業務など③市役所駅窓口センターでの各種証明の発行業務など◇募集人数＝①1人②3人③1人◇任用期間＝令和3年2月1日～3月31日 11月27日(金)
戸籍住民課 ☎94-4713

合同就職面接会

伊勢原・平塚・茅ヶ崎・秦野・大磯・二宮地区を中心とした幅広い業種の企業による合同面接会。詳しくは問い合わせ先へ
11月30日(月)午後1時30分～4時、12月1日(火)午前10時15分～午後0時45分、午後1時45分～4時15分
平塚駅ビルラスカホール
平塚市産業振興課 ☎21-9758
商工観光課 ☎94-4732

緊急小口資金特例貸付などの利用世帯に市プレミアム付商品券を給付

対象と思われるにも関わらず、案内が届かない場合は担当へ
10月末までに緊急小口資金特例貸付、総合支援資金(生活支援費)特例貸付、住居確保給付金のいずれかを申請し、決定を受けた世帯 12月15日(火)
福祉総務課 ☎94-4718

スポーツ競技全国大会等出場激励金を交付

市内在住の人や市内に所在する団体が、県予選などを通過して全国大会などに出場する場合、激励金を交付します。詳しくは担当へ。
スポーツ課 ☎94-4628

市スポーツ賞・スポーツ奨励賞の被表彰者の推薦を

令和2年1月1日～12月31日に行われたスポーツ競技大会で、次に該当する成績を収めた市内在住の個人・団体を表彰します◇スポーツ奨励賞は小学生以下が対象

推薦基準 全県規模で優勝、関東規模で準優勝以上、全国規模で第3位以内、世界規模で第8位以内、全県規模以上で記録を更新
推薦期限 12月4日(金)※期限以降、年内に行われる大会結果で該当する場合は速やかにご連絡ください
スポーツ課 ☎94-4628

宝くじ助成金で備品を購入

宝くじの社会貢献広報事業で、宝くじの受託事業収入を財源としたコミュニティ助成金を消防団活動に必要な備品整備に活用しました。火災現場などでの健康管理のため、消防団の後方支援活動用テントを2張整備しました。



消防総務課 ☎95-9143

催し event

普通救命講習会

心肺蘇生法やAEDの使い方を学ぶ◇修了証の発行あり 12月11日(金)午前9時～正午
コミュニティ防災センター(南分署) 中学生以上の人 8人(申込順)
警防救急課 ☎95-9144

オレンジカフェ(認知症カフェ)

映画を鑑賞して認知症への理解を深める 12月11日(金)午前10時～正午
伊勢原シティプラザ 20人(申込順) 100円 12月10日(木)
南部地域包括支援センター ☎71-6616

図書館 ☎92-3500

野の会による視覚障がい者向け対面朗読サービス

希望する人は電話で申し込みを。

子ども科学館 ☎92-3600

展示室は一部再開しています。プラネタリウム、天体観測会など、館の催しは全て予約制で人数制限があります。申し込み方法など詳しくは、施設かホームページで確認を。

	大人	小・中学生	4歳以上小学生未満	4歳未満
入館料	300円	100円	無料	無料
観覧料	500円	200円	200円	

※入館料は展示室利用料、観覧料はプラネタリウム利用料です
☆印は入館料・観覧料がかかります

プラネタリウム投影番組

12月から番組が変わります。

11/29までの 土・日曜日、祝日	10:30○/13:30●/ 15:30○
----------------------	--------------------------

○＝親子・一般向け番組「ハナビリウム」
※10:30の回は星空解説なし
●＝親子・一般向け番組「銀河鉄道の夜」

天体観測会「クーデの日」☆

望遠鏡で惑星や星雲・星団を観察◇クーデ式望遠鏡は使用しません 11月21日(土)午後6時～7時※中学生以下は保護者同伴、雨天・曇天時は中止



電話番号のおかけまちがいにご注意ください

新型コロナウイルス感染症の影響で、イベントなどが中止となっている場合があります

○ イベント ○

●5ひきの子ぶたのクリスマス

0歳から楽しめるファミリークリスマスコンサート 12月6日(日)午前10時30分～
厚木市文化会館 130人(申込順) 1000円(3歳未満はひざ上での鑑賞は無料)
ピッコリーニ・左納 ☎070-6525-4319

新型コロナウイルス感染症 市内の患者発生状況

患者数(累計) 43人

※11月6日現在

健康・子育て health

すくすく健康相談

保健師や栄養士などが未就学児の健康相談を受けます。身長・体重の計測もできます。母子健康手帳をお持ちください◇11月25日は妊婦の歯科・栄養相談あり 電話で担当へ(人数制限あり)※12月7日の相談は11月20日(金)から受け付け

日時	会場
11/25(水) 13:00～14:00	中央公民館 ※1歳未満児と妊婦のみ
11/26(木) 10:00～11:00	伊勢原南公民館
12/ 7(月) 9:50～10:40	成瀬コミュニティセンター

子育て支援課 ☎94-4637

ごっくん離乳食教室

4～6カ月児の離乳食の進め方を学ぶ。親のみ試食あり 12月9日(水)午後1時～2時30分(受付は午後0時45分～)
市役所分室 15人(申込順)
子育て支援課 ☎94-4637



新型コロナウイルス感染症の影響で、広報紙面に掲載しているイベントなどでも中止や延期が決定している場合があります。詳しくは各担当か市ホームページ「新型コロナウイルス感染症に伴うさまざまなお知らせ」でご確認ください。

イベントなどに参加する際は、検温やマスク着用、手洗いなどの予防対策にご協力ください。

11月1日号4・5面に掲載した「想いが連なり、カタチが残る」の記事内、宝城坊神木のぼり保存会会長の氏名(ふりがな)に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

誤：成瀬徳春(のりはる)さん
正：成瀬徳春(とくはる)さん

●歴史講演会「大山研究の回顧と展望」

大山・日向アーカイブスの解説◇文化庁支援事業 12月13日(日)午前10時～正午
中央公民館 44人(申込順)
伊勢原郷土史研究会・渡部 ☎95-1794

●クリスマスリース作り教室

園内の自然素材でリースを作る 12月13日(日)午前10時～正午
いせはら塔の山緑地公園 小学生以上の家族10組(申込順、小学生は保護者同伴、大人のみの参加可) 1組500円
いせはら塔の山緑地公園 ☎95-5551

みんなの伝言に掲載を希望する人は、掲載希望号発行日の2カ月前から1カ月前までに書面で広報戦略課へ。先着順に受け付けます。